

平成22年度 大阪商業大学堺高等学校 学校評価

1. 学校評価の目的と概要	1
(1) 学校評価の目的	
(2) 平成22年度 実施概要	
① 評価委員会の構成	
② 評価方法	
③ アンケート調査実施概要	
2. アンケート結果	2
(1) 評価観点別アンケート結果	
(2) 観点別アンケート結果からみた学校評価	
(3) 評価段階別 アンケート評価項目	
(4) 生徒・保護者・教職員のアンケート 各分掌別評価	
3. 学校評価	5
(1) 学校関係者評価	
(2) 学校評価	
① 建学の精神の「誠実」な生き方、心の教育について	
② 教務関係 授業への取り組みや授業研究などについて	
③ 生活指導関係 校則の理解・順守、マナーについて	
④ 進路指導・特進対策関係 進路情報の提供、補習・講座などについて	
⑤ 特別教育活動・学校全般 学校行事、クラス活動などについて	
⑥ 総論として	
4. 次年度に向けての課題	15
[資料]	16
・アンケート用紙（生徒、教職員、保護者、来校者）	

1. 学校評価の目的と概要

(1) 学校評価の目的

教育活動全般を通して実施状況を総合的かつ客観的に点検・評価し、本校の教育基本方針及び目標の達成度及び課題を明らかにする。また、教職員の共通理解を深め、教育活動の改善や次期の教育活動計画へ活かすとともに、保護者への説明責任を果たし、開かれた学校づくりを進めることを目的とする。さらに、設置者へ報告し教育の質の向上を図る。

[教育方針及び目標]

本校建学の理念「世に役立つ人物の養成」を目指し、校訓とする「誠実」で「不撓不屈の精神」を有した人物を育成する。また「自学」「自立」「勤労」を指導目標の3本柱として教育を実践する

- (1) 各コースのカリキュラムを見直し、より効率的な指導を目指し進路実績を向上させる。
- (2) 地域に定着し地域の住民から愛される学校づくりに努める。

(2) 平成22年度 実施概要

① 評価委員会

教頭・教頭補佐・教務主任・教務部長・生徒指導部長、進路指導部長・教育活動推進部長・特進コース委員長の8名で構成し、以下の活動を行う。

- ・ 学校自己評価アンケートの作成 [教員、生徒、保護者、地域住民(来校者)]
- ・ アンケート評価結果の集計・分析
- ・ 評価報告書の作成
- ・ 評価方法等、次年度に向けての改善策の策定

② 評価方法

- ・ 教育活動全般と学校運営の状況について、生徒、教職員、保護者、来校者に対してアンケート調査を行い、集計・評価する。
- ・ アンケートを基に、保護者会執行委員を中心として学校関係者評価とする。

③ アンケート調査実施概要

[生徒] 全生徒を対象とする。

3年生 平成23年2月実施

1・2年生 平成23年3月実施

[保護者] 保護者会実行委員を対象とする。 平成23年3月実施

[教職員] 専任教諭・常勤講師を対象とする。 平成23年3月実施

[地域住民] 収穫感謝祭時に来校した方々を対象とする。

平成22年11月実施

2. アンケート結果

(1) 評価観点別アンケート結果

(A そう思う Bどちらかといえばそう思う C どちらかといえばそう思わない D そう思わない)

[1. 建学の精神について (領域：学校運営 評価の観点：私学の独自性)]

生徒① 保護者① 教職員① 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	16.2	17.7	17.8	12.5	25.8	41.2	20.0	18.3	15.2		
B	37.5	28.3	29.1	79.2	58.1	47.1	50.0	43.3	48.1		
C	30.4	27.8	27.2	8.3	9.7	11.8	30.0	28.3	29.1		
D	15.7	26.2	26.0	0.0	6.5	0.0	0.0	10.0	7.6		

[2. 地域との連携 (領域：学校運営 評価の観点：地域交流)]

生徒－ 保護者⑱ 教職員－ 地域⑤

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A				12.5	29.0	16.7				59.2	41.7
B				70.8	45.2	58.3				25.8	41.7
C				8.3	12.9	25.0				8.3	16.7
D				8.3	12.9	0.0				6.7	0.0

[3. 授業研究 (領域：学校運営 評価の観点：教務及び特進関係)]

生徒－ 保護者⑥ 教職員② 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A				16.7	9.7	15.4	0.0	8.3	3.8		
B				58.3	35.5	61.5	46.7	25.0	27.8		
C				25.0	45.2	23.1	46.7	31.7	50.6		
D				0.0	9.7	0.0	6.7	35.0	17.7		

[4. 授業への取り組みと授業展開 (領域：学校運営 評価の観点：教務及び特進関係)]

生徒② 保護者④ 教職員④ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	11.3	11.6	9.8	20.8	9.7	21.4	0.0	1.7	5.2		
B	49.7	39.8	38.9	50.0	51.6	50.0	26.7	35.0	26.0		
C	29.0	30.1	30.3	29.2	32.3	21.4	70.0	48.3	50.6		
D	10.0	18.5	21.0	0.0	6.5	7.1	3.3	15.0	18.2		

[5. 各コースの授業展開 (領域：学校運営 評価の観点：教務及び特進関係)]

生徒－ 保護者⑤ 教職員⑤ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A				16.7	12.9	41.7	6.7	6.7	12.8		
B				62.5	45.2	41.7	50.0	51.7	33.3		
C				20.8	25.8	16.7	40.0	35.0	44.9		
D				0.0	16.1	0.0	3.3	6.7	9.0		

[6. マナー指導について (領域：学校運営 評価の観点：生徒指導)]

生徒⑩ 保護者⑩ 教職員⑰ 地域①

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	14.9	17.1	14.5	16.7	22.6	21.4	0.0	3.3	2.5	45.9	41.2
B	34.0	27.1	25.9	66.7	51.6	50.0	43.3	25.0	22.8	32.8	47.1
C	33.0	32.5	33.7	16.7	16.1	21.4	50.0	51.7	57.0	7.4	11.8
D	18.1	23.3	25.9	0.0	9.7	7.1	6.7	20.0	17.7	13.9	0.0

[7. 校則に対する意識 (領域：学校運営 評価の観点：生徒指導)]

生徒⑪ 保護者⑪ 教職員⑰ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	13.4	14.5	15.5	4.2	9.7	7.1	0.0	3.3	2.5		
B	35.4	33.3	28.8	66.7	45.2	35.7	43.3	25.0	22.8		
C	31.5	29.4	32.2	29.2	38.7	28.6	50.0	51.7	57.0		
D	19.4	22.8	23.5	0.0	6.5	28.6	6.7	20.0	17.7		

[8. 進路情報の提供 (領域：学校運営 評価の観点：進路指導)]

生徒⑤ 保護者⑦ 教職員⑥ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	23.1	19.7	19.3	20.8	20.0	35.7	20.0	18.3	17.7		
B	47.9	42.6	41.1	50.0	40.0	35.7	60.0	63.3	58.2		
C	21.7	25.6	25.7	25.0	20.0	21.4	20.0	11.7	20.3		
D	7.3	12.1	13.9	4.2	20.0	7.1	0.0	6.7	3.8		

[9. 外部実力テストの利用 (領域：学校運営 評価の観点：進路指導)]

生徒⑦ 保護者⑧ 教職員⑧ 地域-

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	12.2	11.9	10.7	20.8	16.1	15.4	10.0	10.0	5.1		
B	37.8	31.1	32.8	50.0	41.9	46.2	50.0	38.3	38.0		
C	36.2	36.3	34.9	25.0	22.6	30.8	33.3	48.3	49.4		
D	13.7	20.7	21.7	4.2	19.4	7.7	6.7	3.3	7.6		

[10. 授業以外の補習・講座体制 (領域：学校運営 評価の観点：進路指導)]

生徒⑨ 保護者⑨ 教職員⑨ 地域-

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	16.0	16.3	11.7	12.5	19.4	6.7	20.0	23.3	16.7		
B	41.2	32.5	33.9	45.8	32.3	40.0	60.0	55.0	48.7		
C	32.0	33.3	34.7	37.5	38.7	33.3	20.0	13.3	26.9		
D	10.2	17.9	19.7	4.2	9.7	20.0	0.0	8.3	7.7		

[11. ホームルーム活動 (学校生活) (領域：学校運営 評価の観点：教育活動推進)]

生徒⑯ 保護者⑮ 教職員⑬ 地域-

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	39.0	34.8	33.4	62.5	33.3	83.3	10.0	15.0	11.4		
B	40.5	37.3	35.6	37.5	60.0	16.7	73.3	63.3	63.3		
C	14.4	16.4	19.0	0	3.3	0.0	13.3	16.7	24.1		
D	5.8	11.5	12.0	0	3.3	0.0	3.3	5.0	1.3		

[12. 学校行事 (領域：学校運営 評価の観点：教育活動推進)]

生徒⑬ 保護者⑬ 教職員⑩ 地域-

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	29.5	25.2	23.9	41.7	46.7	57.1	30.0	35.0	31.6		
B	43.3	40.2	36.0	58.3	46.7	35.7	46.7	45.0	48.1		
C	19.1	19.0	22.9	0.0	6.7	7.1	20.0	18.3	19.0		
D	7.8	15.6	17.1	0.0	0.0	0.0	3.3	1.7	1.3		

[1 3 . 部活動の活性化 (領域：学校運営 評価の観点：教育活動推進)]

生徒⑭ 保護者⑭ 教職員⑪ 地域②

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	32.9	32.7	29.2	50.0	51.7	28.6	33.3	30.0	43.0	71.1	30.8
B	40.5	39.1	36.3	45.8	34.5	64.3	53.3	45.0	36.7	20.7	38.5
C	17.6	16.5	19.5	4.2	10.3	7.1	13.3	25.0	17.7	2.5	23.1
D	9.0	11.7	15.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	2.5	5.8	7.7

[1 4 . 図書の充実 (領域：学校運営 評価の観点：教育活動推進)]

生徒⑮ 保護者－ 教職員－ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	22.5	25.9	22.7								
B	42.9	36.8	34.9								
C	23.6	24.2	24.4								
D	10.2	13.1	17.9								

[1 5 . 教職員の連携状況 (領域：学校運営 評価の観点：教職員及び保護者の連携)]

生徒③ 保護者－ 教職員③ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	16.0	14.4	13.5				20.0	20.0	21.5		
B	43.4	37.4	35.6				56.7	36.7	43.0		
C	28.5	29.3	31.5				20.0	31.7	26.6		
D	11.9	18.9	19.3				3.3	11.7	8.9		

[1 6 . 学校と家庭の連携 (領域：学校運営 評価の観点：教職員及び保護者の連携)]

生徒－ 保護者③ 教職員⑱ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A				16.7	19.4	50.0	6.7	6.7	12.7		
B				53.8	54.8	41.7	63.3	65.0	59.5		
C				25.0	16.1	8.3	30.0	23.3	26.6		
D				0.0	9.7	0.0	0.0	5.0	1.3		

[17. 定期健康診断の実施と予防 (領域：学校運営 評価の観点：健康管理)]

生徒⑳ 保護者－ 教職員－ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	26.6	21.6	22.0								
B	47.3	42.3	41.0								
C	16.6	23.7	22.1								
D	9.2	12.5	14.9								

[18. トイレ及び手洗い場の衛生 (領域：学校運営 評価の観点：健康管理)]

生徒㉑ 保護者－ 教職員－ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	44.8	33.1	34.0								
B	36.4	38.4	37.8								
C	12.6	17.1	16.7								
D	6.1	11.4	11.5								

[19. 施設・設備の充実 (領域：学校運営 評価の観点：施設・設備)]

生徒㉒ 保護者㉒ 教職員㉒ 地域③

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	18.5	18.9	15.5	37.5	22.6	33.3	6.7	3.3	6.3	45.8	50.0
B	38.9	36.0	34.2	29.2	45.2	58.3	36.7	35.0	32.9	36.4	41.7
C	27.3	25.6	29.3	16.7	19.4	8.3	40.0	35.0	43.0	12.7	8.3
D	14.9	19.5	21.0	16.7	12.9	0.0	16.7	26.7	17.7	5.1	0.0

[20. 清掃環境 (領域：学校運営 評価の観点：施設・設備)]

生徒㉓ 保護者㉓ 教職員㉓ 地域④

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	33.3	32.9	28.5	62.5	45.2	66.7	13.3	28.3	27.8	44.4	21.4
B	40.7	35.9	36.4	29.2	45.2	25.0	56.7	40.0	48.1	38.5	50.0
C	17.3	19.9	21.8	4.2	6.5	8.3	23.3	18.3	19.0	12.0	21.4
D	8.2	11.3	13.3	4.2	3.2	0.0	6.7	13.3	5.1	5.1	7.1

[2 1. 人権教育 (領域：委員会 評価の観点：人権教育推進委員会)]

生徒⑫ 保護者⑫ 教職員⑬ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	18.3	16.7	15.7	16.7	19.4	21.4	0.0	6.7	5.1		
B	44.8	32.4	34.8	50.0	41.9	50.0	40.0	43.3	38.0		
C	24.7	27.7	28.7	29.2	29.0	21.4	43.3	33.3	44.3		
D	11.9	23.3	20.8	4.2	9.7	7.1	16.7	16.7	12.7		

[2 2. 進路学習 (領域：学校運営 評価の観点：総合学習委員会)]

生徒⑧ 保護者－ 教職員－ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A	13.8	15.9	13.4								
B	45.9	37.9	35.7								
C	31.1	29.7	33.1								
D	9.0	16.5	17.8								

[2 3. 入学について (領域：その他 評価の観点：入学満足度)]

生徒－ 保護者⑳ 教職員⑳ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A				79.2	60.0	84.6	3.3	6.7	10.1		
B				20.8	30.0	15.4	80.0	65.0	60.8		
C				0.0	6.7	0.0	16.7	23.3	22.8		
D				0.0	3.3	0.0	0.0	5.0	6.3		

[2 4. 相談について (領域：その他 評価の観点：生徒と教職員の関係)]

生徒－ 保護者⑱ 教職員⑱ 地域－

	生徒			保護者			教職員			地域	
	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度	20年度	22年度	21年度
A				45.8	61.3	76.9	20.0	33.3	29.1		
B				41.7	35.5	15.4	70.0	60.0	58.2		
C				8.3	3.2	7.7	6.7	5.0	11.4		
D				4.2	0.0	0.0	3.3	1.7	1.3		

(2) 観点別アンケート結果からみた学校評価

教育方針	本校建学の理念「世に役立つ人物の養成」を目指し、校訓とする「誠実」で「不撓不屈の精神を」有した人物を育成する。 また「自学」「自立」「勤労」を指導目標の3本柱として教育を実践する								
本年度 目 標	1. 各コースのカリキュラムを見直し、より効率的な指導を目指し進路実績を向上させる。 2. 地域に定着し地域の住民から愛される学校づくりに努める。								
アンケート集計 ①=A ②=B ③=C ④=D									
領 域	評価の観点	評価項目	年度	20	21	22	総評	成果と課題	
学校 運営	私学の 独自性	1. 建学の精神 について	生徒	①	2.4	2.4	2.5	B-	B- 建学の精神の「誠実」については保護者・ 教職員は意識している。生徒の意識は、あ まり高くないが、向上しつつある。
			保護者	①	3.0	3.3	2.9	B-	
			教職員	①	2.7	2.7	2.9	B-	
			地域	—	—	—	—	—	
	地域交流	2. 地域との 連携	生徒	—	—	—	—	B 地域住民は高評価であるが、収穫感謝祭来 校者が対象であることを割り引いて考え る必要がある。	
			保護者	⑱	2.9	2.9	2.8		B-
			教職員	—	—	—	—		—
			地域	⑤	—	3.3	3.3		B+
	教務関係 及び 特進関係	3. 授業研究	生徒	—	—	—	—	C+ 教職員・保護者ともに評価は低い。教育の 根幹ともいえる部分なので、いかに向上さ せるか、大きな課題である。	
			保護者	⑥	2.5	2.9	2.1		C+
			教職員	②	2.1	2.2	2.4		C+
			地域	—	—	—	—		—
		4. 授業への 取り組みと 授業展開	生徒	②	2.4	2.4	2.6	B-	C+ 前項同様、取り組みが弱いことは明らかで ある。生徒の評価が比較的高いのは、要求 水準が低いためではないだろうか。
			保護者	④	2.6	2.9	2.3	C+	
			教職員	④	2.2	2.2	2.2	C+	
			地域	—	—	—	—	—	
	5. 各コースの 授業展開	生徒	—	—	—	—	B 教職員と保護者の評価が大きく異なる。内 部事情を理解している教職員と、子どもを 通して見ている保護者の違いであると考え られるが、さらに分析が必要である。		
		保護者	⑤	2.5	3.3	3.3		B+	
		教職員	⑤	2.6	2.5	2.6		B-	
		地域	—	—	—	—		—	
生徒指導	6. マナー指導 について	生徒	⑩	2.4	2.3	2.5	B-	B- 生徒はマナーについて問題意識を持ち、保 護者の評価は高い。教職員評価は、相半ば するが、生徒の問題意識に鑑み指導強化が 必要。	
		保護者	⑩	2.9	2.9	2.8	B-		
		教職員	⑰	2.1	2.1	2.4	C+		
		地域	①	—	3.3	3.1	B+		
	7. 校則に対 する意識	生徒	⑪	2.3	2.3	2.5	B-	B- 生徒指導を強化している効果が表れ、全般 的に向上しつつある。教職員・生徒ともに まだ、改善の余地があると感じている。	
		保護者	⑪	2.6	2.2	2.8	B-		
		教職員	⑰	2.1	2.1	2.4	C+		
		地域	—	—	—	—	—		
進路指導	8. 進路情報の 提供	生徒	⑤	2.7	2.7	2.9	B-	B- 進路学習・総合学習等で行っている情報提 供が評価され、全般的に好結果となってい る。ただ、保護者に対して説明する機会が を増やすことが課題である。	
		保護者	⑦	2.6	3.0	2.7	B-		
		教職員	⑥	2.9	2.9	3.0	B+		
		地域	—	—	—	—	—		
	9. 外部実力 テストの利 用	生徒	⑦	2.3	2.3	2.5	B-	B- 実力考査は、定期的実施しているが結 果について十分に活用しきれていない と考えられる。	
		保護者	⑧	2.5	2.7	2.6	B-		
		教職員	⑧	2.6	2.4	2.6	B-		
		地域	—	—	—	—	—		
	10. 授業以外の 補習・講座体制	生徒	⑨	2.5	2.4	2.6	B-	B- 教職員は進学講座や補習を十分に実施し ていると考えているが、保護者の評価が際 立って低い。広報活動が不足していると考 えられる。	
		保護者	⑨	2.6	2.3	2.2	C+		
		教職員	⑨	2.9	2.7	3.0	B+		
		地域	—	—	—	—	—		

領域	評価の観点	評価項目	年度	20	21	22	総評		成果と課題			
学校運営	教育活動推進	11. ホームルーム活動（学校生活）	生徒	⑮	3.0	2.9	3.1	B+	B+	全般的に評価が高く、学校への満足度は高いと考えられる。特に保護者の評価が高いが、これは対象が保護者会実行委員であることが影響している可能性がある。		
			保護者	⑮	3.2	3.8	3.6	A				
			教職員	⑬	2.9	2.8	2.9	B-				
			地域	—	—	—	—	—				
		12. 学校行事	生徒	⑬	2.8	2.7	2.9	B-	B+		前項同様、生徒・保護者・教職員ともに高い評価となっている。例年、保護者の評価が高い。	
			保護者	⑬	3.4	3.5	3.4	B+				
			教職員	⑩	3.1	3.1	3.0	B+				
			地域	—	—	—	—	—				
		13. 部活動の活性化	生徒	⑭	2.9	2.8	3.0	B+	B+			生徒・保護者・教職員ともに高い評価となっている。特に保護者の活発であるという評価が高い。近隣地域の住民からも、よく活動しているように評価されている。
			保護者	⑭	3.3	3.2	3.5	A				
			教職員	⑪	3.1	3.2	3.2	B+				
			地域	②	—	2.9	3.5	A				
	14. 図書の充実	生徒	⑮	2.8	2.6	2.8	B-	B-	生徒評価は、比較的高いが、分掌での総括による利用率、平均1人1冊以下とは相反するものがあり、実態を考えずに回答している可能性がある。			
		保護者	—	—	—	—	—					
		教職員	—	—	—	—	—					
		地域	—	—	—	—	—					
教職員及び保護者の連携	15. 教職員の連携状況	生徒	③	2.5	2.4	2.6	B-	B-		生徒から見るとまだまだ連携が十分であるとは見えていない。平成22年度に起きた情報漏洩の事案などにおける影響も考えられる。		
		保護者	—	—	—	—	—					
		教職員	③	2.6	2.8	2.9	B-					
		地域	—	—	—	—	—					
	16. 学校と家庭の連携	生徒	—	—	—	—	—	B-			教職員・保護者ともに連携の評価はほぼ一致している。	
		保護者	③	2.8	3.4	2.9	B-					
		教職員	⑮	2.7	2.8	2.8	B-					
		地域	—	—	—	—	—					
健康管理	17. 定期健康診断の実施と予防	生徒	⑳	2.7	2.7	2.9	B-	B-	健康面での配慮はなされていると評価している。どのような点を生徒が評価しているかは不明である。			
		保護者	—	—	—	—	—					
		教職員	—	—	—	—	—					
		地域	—	—	—	—	—					
	18. トイレ及び手洗い場の衛生	生徒	⑲	2.9	2.9	3.2	B+	B+		高い評価となっている。これは公立中学校と比較して設備面ですぐれていること、業者による清掃であることが、大きな要因となっていると考えられる。		
		保護者	—	—	—	—	—					
		教職員	—	—	—	—	—					
		地域	—	—	—	—	—					
施設・設備	19. 施設・設備の充実	生徒	⑯	2.5	2.4	2.6	B-	B-	評価は全般的に高くない。特に他校との比較が容易な教職員の評価が低くなっている。内容の分析が必要である。			
		保護者	⑯	2.8	3.3	2.8	B-					
		教職員	⑭	2.1	2.3	2.3	C+					
		地域	③	—	3.4	3.1	B+					
	20. 清掃環境	生徒	⑰	2.9	2.8	3.0	B+	B+		教室以外の施設が業者による清掃であることが大きな要因となり、生徒・保護者ともに高い評価となっている。教室への美化意識と分けて評価を得る必要がある。		
		保護者	⑰	3.3	3.6	3.2	B+					
		教職員	⑫	2.8	3.0	2.8	B+					
		地域	④	—	2.9	3.1	B+					
委員会	人権教育推進委員会	生徒	⑫	2.4	2.4	2.7	B-	C+	評価は低い。人権教育委員会のプログラムだけでなく全体的な見直しが必要であると考えられる。			
		保護者	⑫	2.7	2.9	2.3	C+					
		教職員	⑲	2.4	2.4	2.2	C+					
		地域	—	—	—	—	—					
	総合学習委員会	22. 進路学習	生徒	⑧	2.5	2.4	2.6	B-		B-	総合学習での進路学習が独自教材になったことなどの影響で、多少改善が見られる。しかし、全体的によりいっそうの充実をはかる必要がある。	
			保護者	—	—	—	—	—				
			教職員	—	—	—	—	—				
			地域	—	—	—	—	—				

領域	評価の観点	評価項目	年度	20	21	22	総評		成果と課題	
その他	入学満足度	23. 入学について	生徒	—	—	—	—	B+	保護者の評価は非常に高く、入学させてよかったと思っている。教職員の評価は、年々高くなっている。	
			保護者	㊀	3.5	3.8	3.8			A
			教職員	㊀	2.7	2.7	2.9			B-
			地域	—	—	—	—			—
	生徒と教職員関係	24. 相談について	生徒	—	—	—	—	B+	保護者・教職員ともに、生徒が教職員へ気軽に相談できるとみている。	
			保護者	㊀	3.6	3.7	3.1			B+
			教職員	㊀	3.2	3.2	3.1			B+
			地域	—	—	—	—			—

アンケート欄のポイントは、①4点、②3点、③2点、④1点として、平均を計算。総評は、A（3.5以上）、B+（3.0～3.4）、B-（2.5～2.9）、C+（2.0～2.4）、C-（1.5～1.9）、D（1.0～1.4）とした。

(3) 評価段階別 アンケート評価項目

	生徒	保護者	教職員
A		11.ホームルーム活動（学校生活） 13.部活動の活性化 23.入学について	
B+	11.ホームルーム活動（学校生活） 13.部活動の活性化 18.トイレ及び手洗い場の衛生 20・清掃環境	12.学校行事 20.清掃環境 24.相談について	8.進路情報の提供 10.授業以外の補習・講座体制 12.学校行事 13.部活動の活性化 20.清掃環境 24.相談について
B-	1.建学の精神について 4.授業への取り組みと授業展開 6.マナー指導 7.校則に対する意識 8.進路情報の提供 9.外部実力テストの利用 10.授業以外の補習・講座体制 12.学校行事 14.図書の実践 15.教職員の連携状況 17.定期健康診断の実施と予防 19.施設・設備の充実 21.人権教育 22.進路学習	1.建学の精神について 2.地域との連携 5.各コースの授業展開 6.マナー指導 7.校則に対する意識 8.進路情報の提供 9.外部実力テストの利用 16.学校と家庭の連携 19.施設・設備の充実	1.建学の精神について 9.外部実力テストの利用 11.ホームルーム活動（学校生活） 15.教職員の連携状況 16.学校と家庭の連携 23.入学について
C+		3.授業研究 4.授業への取り組みと授業展開 10.授業以外の補習・講座体制 21.人権教育	3.授業研究 4.授業への取り組みと授業展開 5.各コースの授業展開 6.マナー指導 7.校則に対する意識 19.施設・設備の充実 21.人権教育

(4) 生徒・保護者・教職員のアンケート 各分掌別評価

	生徒指導	進路指導	教育活動推進	教務・授業
A			11. ホームルーム活動 (保護者) 13. 部活動の活性化 (保護者)	
B+		8. 進路情報の提供 (教職員) 10. 授業以外の補習・ 講座体制 (教職員)	11. ホームルーム活動 (生徒) 12. 学校行事 (保護者) 12. 学校行事 (教職員) 13. 部活動の活性化 (生徒) 13. 部活動の活性化 (教職員)	5. 各コースの授業展開 (保護者)
B-	6. マナー指導 (生徒) 6. マナー指導 (保護者) 7. 校則に対する意識 (生徒) 7. 校則に対する意識 (保護者)	8. 進路情報の提供 (生徒) 8. 進路情報の提供 (保護者) 9. 外部実力テストの利用 (生徒) 9. 外部実力テストの利用 (保護者) 9. 外部実力テストの利用 (教職員) 10. 授業以外の補習・ 講座体制 (生徒)	11. ホームルーム活動 (教職員) 12. 学校行事 (生徒) 14. 図書の実践 (生徒)	5. 各コースの授業展開 (教職員)
C+	6. マナー指導 (教職員) 7. 校則に対する意識 (教職員)	10. 授業以外の補習・ 講座体制 (保護者)		3. 授業研究 (保護者) 3. 授業研究 (教職員) 4. 授業への取り組み (保護者) 4. 授業への取り組み (教職員)

3. 学校評価 (アンケート結果を中心に)

(1) 学校関係者評価

保護者会執行委員にアンケート結果を提示、意見を頂いたものを学校関係者評価とした。

[アンケート項目について]

年度当初に、こういった学校運営をするという方針や具体的な計画が、保護者・生徒に明示されていないので、年度末にアンケートをとっても、実際どうであったかという評価はしにくいと思われる。アンケート項目についても、例えば「人を大切にする意識が高い」「健康面で配慮されている」といった項目については、抽象的すぎて、何に対する評価をすればいいのか回答しにくいものがある。また、マナーや校則については、生徒は自分のことを答える部分と、生徒全体がどうなのかを答える部分を分けて質問する必要があるのではないかと考えられる。さらに授業や教員との関わりでは、もう少し教科別等、細かく質問しないと、今後の改善に活かされないし、保護者が結果をもらっても、知りたいこととずれてしまう可能性がある。保護者にとって関心が高いのは、やはり学校全体というよりも、自分の子どもが所属するクラスや

学年がどうかということではないだろうかと考える。校則についても、どのような校則を問題とと考えており、どのような校則が子どもにとって必要であると考えているのか知りたい。

次年度以降、可能であるならば、アンケート項目について事前に見せていただき、保護者の意見を取り入れてもらえればと考える。

[学校評価について]

学校への満足度が高いのは、実感するところである。保護者にとって、自分の子どもが楽しく学校へ通っているというのは、何よりも大切である。アンケート結果に反映されているように、クラスやクラブが楽しく充実しているという声はよくきく。多くの生徒・保護者の満足度が高いのは頷ける結果である。特に先生方が日頃からよくコミュニケーションをとってくれると感じていることもあり、これが評価をあげる大きな要因となっていると思われる。

授業の様子については、クラスや教科担当者により大きく異なり、静かに集中している授業もあれば、私語の多い授業もある。また、きっちりと注意する教員もあれば、放置する教員もあり、このあたりが项目的にアンケート結果に出てこないが、やはりある程度、意識して統一してもらいたい。

校則については、やはりきっちりと指導していただきたい。頭髪等も、是非については様々な意見があると思うが、定めている以上は、生徒個々に差がなく平等に指導してもらいたい。保護者の数字が高いのは、期待度の表れではないかと思う。

施設・設備については、「私学」ということから考えると物足りないと思う。教室のエアコンもよく故障すると聞いているし、クラブ活動の場所も確保されていない。スポーツコースとして生徒を集めているならば、先生方が熱心で私学なので転勤等が少なく継続的に指導していただける点は良いが、体育館などの施設は公立とは違うものがほしい。

(2) 学校評価

① 建学の精神の「誠実」な生き方、心の教育について

学園の建学の精神、校長方針については、各分掌、学年、委員会で意識して様々な活動に取り組んでいる。その中心となるのが日頃の生徒指導、総合的な学習での「生き方の学習」や研修旅行の事前学習、人権学習などである。また、週1時間実施している勤労教育での講話や実践は、他校にない特色ある教育で大いに目標達成に寄与していると考えられる。

具体的な指導としては、日々の生徒指導が基盤となると考えられる。後述のように規則を守り、マナーを知るといった点を自ら体験することで、自分に謙虚になり周囲への思いやりや配慮ができるようになると考えられる。

また、実際に地域の人々や高校生以外の学生・児童と触れ合える機会が多くあるというのも本校の大きな特徴である。大阪府立視覚支援学校の生徒・児童を実際に迎え手伝いをする、地域の小学生が来校し学習する様子を知る、収穫感謝祭で来られる近隣住民の方と触れ合う、クラブ員による地域の清掃活動への協力といったものである。

アンケートの結果では、良い評価（Aそう思う＋Bどちらかといえばそう思う）は、生徒53.7%、保護者91.7%、教職員70.0%と生徒の評価が若干低いものの、良い結果となっている。低い生徒の評価にしても、20年度46.9%、21年度46.0%と比べると年々上昇しているので、理解が進んでいると考えられる。一方、地域からの評価も83.4%と良い評価を得ている。

生徒が理解し、高い評価を得られるためには、一つのイベントだけではなく、個々の活動を丁寧に積み重ねる必要があり、今後も継続的に根気強く指導していく必要がある。

② 教務関係 授業への取り組みや授業研究などについて

授業（教科活動）は、高校生活の根幹をなすものである。教科会や教科主任会を定期的で開催し、

授業力向上に努めている。また、例年6月と11月の2回全教員が自分の授業を公開し、研修の場としている。また、その授業について、生徒からの授業評価をもらい、教科担当者が授業改善の参考とした。

ただ、アンケートの結果では、「3.授業研究」についても「4.授業への取り組みと授業展開」についても良い評価（Aそう思う+Bどちらかといえばそう思う）は、生徒はともかく（4：61.0%）例年と同じく教職員が低評価（3：46.7%、4：26.7%）であり、特に「Aそう思う」については本年度3：0.0%、4：0.0%と厳しいものになっている。この原因については、さらに学年毎また、コース毎の分析が必要であると考えられる。

今後、教員個々の「授業力」を高めるためには、さらに教科内で検討を重ねるとともに、外部研修会等へ積極的に参加し研鑽する機会を設けることが必要である。

③ 生活指導関係 校則の理解・順守、マナーについて

生活指導といっても頭髮指導や制服の着方など校則の理解と順守、自転車などの交通安全教育、防犯指導、薬物防止、健康教育など多岐にわたっている。また、挨拶の習慣や敬語の使い方など礼儀・マナーに属する部分も社会へ出る準備として必要である。指導としては、教員による毎日の通学路へ出での登下校指導、校門指導、定期的な頭髮指導・自転車指導などの他、違反生徒に対する指導も行っている。また、防犯指導や交通安全指導、薬物防止指導などでは、警察（西堺署）や鳳自動車教習所、琵琶湖ダルクなど外部講師を招いて実施している。

マナー指導では、本年度女子生徒へのマナー指導を重点課題として、元ANAの客室乗務員を招いての講座を実施し好評であった。

これらの継続的な指導の結果、依然として注意が必要な生徒もいるが自転車通学の様子などは大幅に改善されており、全体としてはかなり意識が定着してきたと考えられ、始業式・終業式などの集会においてもほとんど私語が見られなくなった。

アンケートを見ても、過去2年に比べ、生徒・保護者・教職員いずれも、良い評価が増えている。特に保護者については、「6.マナー指導」では83.4%、「7.校則に対する意識」では70.9%と非常に高い評価となった。これは、前述の学校関係者評価での内容と一致するものであると考えられる。しかし、これに比べると教職員の評価は相対的に低く、教職員がさらに高い要求水準を持っていると考えられる。また、「D そう思わない」と否定的な評価をした生徒も、年々減少しており（6：25.9%→23.3%→18.1%、7：23.5%→22.8%→19.4%）理解が進んでいることが伺える。

④ 進路指導・特進対策関係 進路情報の提供、補習・講座などについて

1年生では総合的な年間計画内での「進路サポート」や独自教材による学習、「自己発見リサーチ（適性テスト）」などを実施している。2年生では本年度から総合的な学習が研修旅行になったため継続的な指導が困難になり単発的な学習となったが、調査書の説明、入試形態の説明、求人票の見方、志望理由書の書き方など十分な内容とすることができた。また、外部講師を招いての模擬授業も実施した。3年生では、系列校への見学会やオープンキャンパスへの案内、公務員説明会など就職指導も併せて実施した。一方、保護者へは「1年特進文理説明会」「2年進路説明会」「3年進路説明会」「特進成績報告会」など啓発活動を行った。

実力テストは、進研（ベネッセ）によるものを全コース必修とするとともに、特進コースについては河合全統模試等の受験を勧めた。結果については、**Fine System**といった分析ツールを用いて進路指導に役立てた。

進学講座は例年の発展講座に加え、1年生を対象に基礎講座を設け、グローバルコース生徒などの進学対策とした。教員間では、「特進教科担当者会議」などを設け、情報の共有を図ったが、十分に機能したとは言い難い状況となった。

アンケート結果を見ると「8.進路情報の提供」について、生徒・保護者・教職員ともに70%以上が良い評価を出している。また、D評価をした生徒は7.3%、保護者は4.2%と低い数値である。この数値は、分掌・委員会の活動により生徒・保護者に十分な情報提供の機会を設定できている証拠である。「9.外部実力テストの利用」では、生徒評価で、高評価と低評価が50.0%ずつとなり、評価が分かれている。今回コースごとの分析は行っていないが、そういった必要もあると考えられる。また、模試の結果については、単に返却するだけでなく、フォローする体制づくりも検討しなければならない。

「10.授業以外の補習・講座体制」については、教員評価をしているのが専任教員・常勤講師であり、この評価が突出して高い。進学講座の発展講座が元予備校教員、基礎講座が時間講師であることとの関係を考察する必要がある。また、補習・講座については、受講者と受講者以外の回答を区別できれば、講座そのものに対する満足度が測定できる。次年度に向けての課題である。

⑤ 特別教育活動・学校全般 学校行事、クラス活動などについて

特別教育活動は、生徒会活動、生徒会行事、クラブ活動、図書・視聴覚教育などを担当している。体育祭、文化祭をはじめとする生徒会行事は、生徒会役員や委員を中心として企画・運営し、年々改善しているため、参加率満足度ともに向上している。

クラブ活動は、スポーツコースの充実に伴い運動部の活性化が顕著である。

「11.ホームルーム活動（学校生活）」「12.学校行事」「13.部活動の活性化」ともに、生徒・保護者・教職員・地域ともに高い評価を得た。例として生徒の回答を見ると、11：79.5%（A：39.0+B：40.5）、12：72.8%（A：29.5+B：43.3）、13：73.4%（A：32.9+B：40.5）となっている。また、この項目の年次変化を見るとやはり年々向上してきている。この部分の充実が、生徒の学校生活の満足度に繋がり、保護者の学校への評価「23.入学について」でC,D回答が0という結果に繋がっていると考えられる。

⑥ 総論として

生徒・保護者・教職員・近隣住民ともに、どの項目においても概して高い評価をしている。これは、特に学校生活・学校行事等について満足していること、何でも相談できる面倒見のよいという信頼関係があることが大きな要素となっている。これはアンケート開始から3年間同様の傾向が見られ、本校の特筆すべき強みであると考えられる。

一方、生徒アンケートでのマナーや挨拶、社会のルール等では自分たちに厳しい評価をしている点、保護者・教職員の教材や教え方の工夫について厳しい評価がある点が今後の改善点である。また、施設・設備への低い評価は、私学の競争激化の折、他校との差別化を図るためには必要な要素になると考えられる。

4. 次年度に向けての課題

- ① 学校方針と直接結びつくような評価とする。
- ② アンケート対象を再考する。
保護者アンケートの対象を、保護者会実行委員だけでなく一般の保護者にも広げる
来校者のアンケートを収穫感謝祭に来校する人以外にも広げる可能性を検討する。
- ③ アンケート項目を、保護者会の意見も参考に学校の活動を分析しやすいものにする。
- ④ 第三者評価を検討する。

[資料] 実施したアンケート

地域住民アンケート

(①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない)

項目	内 容	○をつけて下さい			
		①	②	③	④
1	商大堺の生徒はマナーを守り礼儀正しい。				
2	部活動が活発に行われている。				
3	施設が充実している。				
4	校舎内は清潔である。				
5	商大堺は地域に開かれた学校である。				

生徒アンケート

(①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない)

項目	内 容	○をつけて下さい			
		①	②	③	④
1	商大堺生は誠実に行動している。				
2	授業が分かりやすく展開されている。				
3	先生方が協力しあっている。				
4	成績などの自分への評価は、適切に行われている。				
5	進路に関する必要な情報が適切に提供されている。				
6	先生方による進路への適切なアドバイスがなされている。				
7	外部テストがうまく利用されている。				
8	進路学習が、将来の進路を考える上で充実した内容である。				
9	授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している。				
10	生徒はマナーを守り挨拶もきちんとできる。				
11	規則など学校の決まりは妥当である。				
12	人を大切にする意識が高い。				
13	学校行事は楽しく協力しあっている。				
14	部活動は全体的に活発である。				
15	図書室には本が充実している。				
16	学校の施設は充実している。				
17	校舎内は清掃がなされておりよい環境である。				
18	雰囲気がよく楽しいクラスである。				
19	トイレなどは衛生的である。				
20	健康面で配慮されている。				

保護者アンケート

(①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない)

項目	内 容	○をつけて下さい			
		①	②	③	④
1	教育全般に、校訓である「誠実」に生きる指導がなされている。				
2	学習活動に力を入れている。				
3	学校と家庭が連携し、協力体制ができている。				
4	授業がわかりやすく展開されている。				
5	各コース目標に沿った授業が展開されている。				
6	教材や教え方に工夫がされている。				
7	進路に関する必要な情報が適切に提供されている。				
8	外部テストが活用され進路指導が充実している。				
9	授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している。				
10	挨拶やマナー等基本的な生活習慣が身についている。				
11	生徒は校則や社会のルールを守っている。				
12	人権に対する意識はたかい。				
13	学校行事は楽しく協力しあっている。				
14	部活動は全体的に活発である。				
15	学校生活は快適に送れている。				
16	学校の施設は充実している。				
17	校舎内は清掃活動がなされていてよい環境である。				
18	先生と生徒が気さくに話ができる。				
19	地域の住民から信頼される学校である。				
20	商大堺に入学させてよかった。				

教職員アンケート

(①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない)

項目	内 容	○をつけて下さい			
		①	②	③	④
1	教育全般に、校訓である「誠実」に生きる指導がなされている。				
2	教育効果を高める研究がなされている。				
3	教職員は、協力しあって学校運営にあたっている。				
4	生徒は授業に熱心に取り組んでいる。				
5	コース目標に沿った学習がなされている。				
6	生徒に必要な進路情報が適切に提供されている。				
7	生徒の進路に関して適切なアドバイスを行っている。				
8	外部テストをうまく利用している。				
9	授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している。				
10	学校行事は生徒にとって楽しく充実している。				
11	本校の部活動は全体的に活発である。				
12	校舎内は清掃活動がなされておりよい環境である。				
13	生徒は学校生活を快適に送れている。				
14	学校の教育施設は充実している。				
15	生徒の相談によく応じている。				
16	生徒は先生方の指導によく乗っている。				
17	生徒は校則について理解している。				
18	学校と家庭との連携ができています。				
19	生徒の人権に対する意識はたかい。				
20	生徒は本校に入学して満足している。				